



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年04月02日 第556号「週刊五十嵐レポート」

正しい経営

平成24年3月31日(土)、朝日新聞の「フロントランナー」は法政大学大学院教授の坂本光司氏。「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者で有名。

坂本氏は6000社以上の中小企業を訪問。2008年の刊行以来第3弾まで累計の発行部数は60万部を超えた。

10年には、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を創設。人員整理しない、下請けにコストダウンを強制しない、法定の障害者雇用率を上回る、重大な労災がない、そして黒字経営。すべての条件を満たす会社から、優良な企業を表彰する。根底には「正しい経営」をしている会社に光を当てる。

「正しさ」の基準はシンプル。「5人」を重視する経営。

社員とその家族、外注先・下請け企業、顧客、地域社会、最後に株主。この優先順位に意味がある。

「顧客に商品やサービスを提供するのは社員。顧客のことを考えるより、社員の幸せを真っ先に考えるのが経営者の仕事」と言い切る。

坂本氏が言い切る「正しい経営」には大企業は入らない。私の知る限り大企業は外注先・下請け企業に対してコストダウンの圧力をかける。ここに関しては坂本氏の意見に賛成。

坂本氏が訪問した6600社のうち正しい経営をされているところは1割。残りの9割はそうではない。私のお手伝いしている先も残念ながら正しい経営まで至っていない。生き残るために不採算事業から撤退した時に、従業員1名を解雇した。社長は解雇したくはなかった。解雇するぐらいなら、会社を閉めると。私は解雇しないで会社が潰れて皆を路頭に迷わせるより、1名を解雇して、会社を存続でき、他の人を守ることも経営者の責任と言った。その会社は今でも生きている。「正しい経営」までは遠い道のりである。

ちょっと
気になる出来事

毎年この時期になると自ら執筆もしている「税制改正」の本を贈ってくれる税理士がいます。

ペラペラめくってみると、減価償却制度の改正がありました。平成24年4月1日以後に取得する減価償却資産の償却率は定額法(1/耐用年数)を2.0倍(現行2.5倍)した数とした。250%の定率法から200%の定率法への改正。つまり初年度の償却額が少なくなるということ。

欠損金の繰越制度の改正は、欠損金の繰越期間は7年だったものが9年に延長に。再建途上の企業にとってはいいこと。

税制改正に関して、詳細は顧問税理士に聞いてください。

S税理士、毎年、「税制改正」の本を贈ってくれて、有り難うございます。



一口メモ
成功の秘訣

信念

私たちは、プラスとマイナスの思考である「不安と信念」という、相反する2つの要素に支配されている。「信念」がない生活では、必然的に「不安」が基盤になる。あなたのリーダーシップを「不安」にゆだねてはいけません。

不安や恐怖は人生の歯車に挟まった砂で、信念は油だ。不安や疑惑よりも、信念や自信に従って生きの方が楽だ。あれこれ悩み悶えている時の自分は、ちょうど呼吸困難に陥っているようなもので、自分の本性に適した空気を求めている。逆に、信念と自信にあふれている時は、楽に呼吸ができる。空気が自分に合っているからだ。

「たとえ失敗しても、あなたがここまで努力してきたことは立派です。おおいに誇って結構です。あなたの勇気とチャレンジ精神に、尊敬の拍手をおくる人はたくさんいます！」このように不安思考を信念思考に姿を変えていく。 **ロバート・シュラー著「いかにして自分の夢を実現するか」(三笠書房)**

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ● 月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

